

# ひるば

敷居の低い癒しの場としての病院を目指して

発行 地域連携室

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇838番地

TEL 078-967-1202(代表)

FAX 078-967-3626

URL <http://www.tohokai.jp/>

Email [office@tohokai.jp](mailto:office@tohokai.jp)

2022年  
5月号  
第161号



## 始動！東峰会「新」研修制度

初めまして、井上と申します。

実は東峰会には「企画・人材育成室」という職員厚生、人材育成(その他諸々)を担う部署がありまして、私はこの部署にて主に人材育成を担当しています。ちなみに私はちょうど一年前に東峰会に入職をしています。それまでは上場企業にて教育、採用、新人研修の業務に就いておりました。東峰会に限らず、病院の中ではかなり稀有な存在かと思いますが、(自分で言うのも何ですが、) こういう人間を採用すること自体が東峰会の『人材育成に力を入れたい』という想いの表れだと思えます。

東峰会の研修は、大きく分けて3段階、新卒研修、中堅研修、管理職研修があります。特に新卒研修はさらに3種の研修(座学研修、現場研修、振り返り研修)を用意しており、これを2年間に渡って医師、看護師、ソーシャルワーカーが対等な関係で受けながら、学びを共有しあえる関係性を築くことができます。築くことは、気づくこと。自分の成長に気づき、実感を持ったとき、人は一番強くなれます。これが、果ては患者さんへの細かく力強い支援に繋がっていくことでしょう。

この研修が実現できているのは、各部署の協力があったことです。東峰会では元より、新卒の育成を配属部署のみの責任とせず、優しく厳しく温かく法人全体で育てる文化・精神がありました。私はこれを『オール東峰会』と呼称しています。患者さんにとっての『最高の支援』を第一に考えているからこそ『オール東峰会』。この精神を胸に、たゆまず歩んでいきたいです。

(企画・人材育成室 井上 遼)



## こんな東峰会でありたい こんな人材を育てたい

質の高い医療や支援が提供できて、それを提供する側が理解し、利用される方に納得してもらえるような病院でありたいです。「ひととしていい」人材に集まってもらって、必要な技術と知識を身に付けてもらいたいです。

副院長 鬼頭あつ志



地域とともに共生できる病院・法人でありたいです。そのために相手の立場に立つてものごとを考え、行動できる人を育成したいと考えています。大きな目標ですが病院・法人にとって大切なこととして真摯に取り組みます。

総務部長  
千葉 雅彦



特別でなく当たり前の暮らしをサポートできる東峰会でありたいです。誠実さが無いところに幸せは生まれません。自分や仕事に誠実に向き合える人材を育てていきたいです。

地域リハビリテーション事業部長  
馬場 麻里子



しんどくなった時に思い出してもらえる法人にしたいです。そのために「人」として丁寧に関わることでできる人材を育てたいです。

看護部長  
福永有紀子



病、生きづらさがあっても安心して暮らせる社会に寄与する法人でありたいです。とらわれず、偏らず、柔軟でユーモアがある人材を育てたいです。

訪問看護事業部長  
吉井 栄子





# 感染対策を徹底し、安心の治療・療養を～当院の取り組み～

## 入院する患者さん 全員にPCR検査



感染対策の原則は、病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」を基本に、感染の要因（①病原体②感染経路③宿主）をひとつでも取り除いて感染を成立させないことです。その要因のなかで特に重要な対策は「感染経路の遮断」です。また、感染対策の基本は標準予防策です。感染源となる可能性がある体液や排泄物等に対し、感染する危険性があるものとして取り扱うという考え方です。常に標準予防策を意識することが新型コロナウイルス感染症を含め、すべての感染症の対策になります。具体的には、手洗いや手指消毒を適宜に行い、手に対象物が接触すると予測される場合は手袋を着用し、顔に対象物が飛散すると予測される場合はマスクとゴーグルやフェイスシールドを装着し、体や衣服に対象物が接触すると予測される場合はガウンを着用するなど、感染経路に応じた防護具を使用することで感染経路を遮断します。新型コロナウイルスは飛沫と接触の感染経路を遮断することで感染の成立を防ぐことができます。それに加え、水際対策を怠

ることなく職員の感染対策に対する意識の向上を図ることが肝要です。水際対策としては、外来入口を一本化し、人流を管理して感染者を棟内に入れることなく COVID-19 検査で陽性者を発見することが重要です。当院では、外来棟の出入口は正面玄関のみにして担当者が対象者に検温と健康チェックを実施し、手指消毒とマスク着用をお願いしています。入院する患者さんには全員に PCR 検査（NEAR 法）を実施しています。また、職員全員がアルコール消毒液を携帯したり、感染対策に関する職務及び休養基準等を状況に応じて改定し、周知徹底を図って職員の感染対策に対する意識の向上を目指しています。今後も新型コロナウイルス感染拡大が危惧されるなか、感染対策で最も大切なことは、職員ひとりひとりが常に意識して標準予防策を実施し感染経路の遮断に徹することだと考えます。

看護部感染対策委員会責任者・北1病棟師長 石井 義秀

## 職員に3つのお願い

東峰会職員全員が  
気をつけています

- 1 職員が感染しないように職務及び休養基準を遵守し、**プライベートな行動に十分注意**してください。特に感染拡大地域への外出や会食は自粛してください。
- 2 体調に変化が生じた場合は職務及び休養基準を遵守し、「無理をしない」「無理をさせない」よう皆で支え合う気持ちを大切にしてください。
- 3 職務及び休養基準を遵守し、仮に本人が感染しても**他者を濃厚接触者に該当させない行動**を日常から意識し、他者に思いやりのある行動をとってください。

今年2月、当院において新型コロナウイルスの集団感染が発生しました。この間、患者さん、ご家族及び関係諸機関にはご心配とご迷惑をおかけしましたことを、あらためてお詫び申し上げます。引き続き、感染対策を徹底し、安心して治療・療養を受けていただけるように努めてまいります。





1970年前後にスチューデントアパシーと言われたものが、その範囲を広げつつ、五月病と言われるようになっていったようです。ですから当初は大学生に特有と言われ、激しい受験戦争の後、「燃え尽き」たことや、受験のために多くのことに犠牲を払い、人間関係の成長をできないままになってしまったことから、新しい環境で新しい人間関係をうまく築くことができずに落ち込んだり、気力を無くして引きこもってしまったりすることと定義されていました。

誰しも新しい環境で頑張ろう、うまくやりたい、出直したいなどという、多くの気持ちを持っているのですが、なかなかその頑張りにはすぐに結果が出ないことから、しんどいなあと感じるようになるのでしょうか。

今の医学的な呼び名では適応障害ということになるかもしれません。適応障害をよくするために必要なのは、その環境と離れてみることでしょう。

ちょうどその時期にあるゴールデンウィークが終わったときに、前の気持ちで頑張れない。そう気づいたならば、その環境と自分がマッチしていないと考えられます。

必要なのはそのような状態に陥っている自分のことを、相談できる相手を持つことです。家族でも友人や先生でも、上司や同僚でもカウンセラーでも精神科医でも構いません。相談することで客観的に問題を捉えることができるようになるものです。

一方で環境に明らかな問題があると考えられた場合は、自分ではなく学校や職場が「病気」と考えて対処することを考えます。その時もやはり、相談できる相手は必要です。

ゴールデンウィーク明けにスイッチが入らないときは、自分か環境か、両方に問題がある可能性があります。一度考えてみる必要があるかもしれません。

個人的には、ゴールデンウィークをまとめて休んだことがないので、幸いにもそれで困った経験はありません。

副院長 鬼頭あつ志





## お医者さんをご紹介します



たか お  
**高尾 先生**

出身：奈良県  
趣味：音楽鑑賞



仕事をしていてどんなところに  
やりがいを感じますか？

患者さんの病状が改善していく時にやりがいを感じます。最初は重い病状で入院された方が回復されて、外来でお会いできる時は大変うれしく感じます。

今後していきたいことは？

患者さんやご家族としっかりと信頼関係を築けるよう努力していきます

みなさんに一言どうぞ

患者さんに寄り添い、生き方を共に考えていく精神科のあり方に魅力を感じます。今後ともよろしくお願いいたします。

## 外来担当医のご案内

**外来再診担当医** 受付時間 8:50 ~ 15:00

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15~12:00	狩場 9:40~	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00~16:50	朴	西村	岡本	瀬川14:00~15:00 高尾	頼 赤堀	—

**初診外来・入院 担当医** 曜日別に下記の常勤医師を中心に、上記の外来再診担当医以外の医師が診察します（順不同）

月	火	水	木	金	土
佐伯	内藤	頼	佐伯	朴	当番医①
岡本	吉田	朴	狩場	岡本	当番医②
赤堀	赤堀	狩場	吉田	石橋	当番医③
高尾	石橋	橋本	石橋	橋本	

## 専門外来担当医のご案内

☆ < 児童思春期外来 > 毎週月曜午後 **完全予約制** (担当：内藤医師)

☆ < 発達障害専門外来 > 第3金曜午後（月1回） **完全予約制** (担当：上月医師)

### 編集後記

新緑がまぶしい季節になりました。当法人にも新職員の方が入職し、フレッシュな風が吹いています。毎年この時期になると、初々しい職員の顔を見て、気持ちが引き締まる思いです。今年こそはその気持ちを持続し、私自身ステップアップしていきたいです。

(医事経理課：山崎麻維子)